

2010 年も皆さんと
一緒に街道で
楽しんでいきたい！

みやぎ街道交流会ニュース

第 12 号 2010 年 1 月 22 日 発行

(写真)
みやぎ街道交流会 in 越河・斎川
主催者挨拶にて (越河公民館)

巻・頭・言 2010年 新たな船出

みやぎ街道交流会 会長 高倉 淳

ニュース第 12 号では、みやぎ街道交流会会長の高倉より、交流会の活動を大海を進む船にみたてて、2009 年の航海を振り返り、そして 2010 年の新たな船出に向けた巻頭言をお届けします。

新年おめでとうございます。

平成 19 年 5 月に寒風沢港を船出した「みやぎ街道交流会」丸は、その年に「in 栗原」、翌年 5 月に「in セケ宿」に寄港し、加えて「とうほく街道会議」を成し遂げ、それぞれ成果を上げてきました。

昨 21 年 11 月には仙南の越河で佐藤忠氏の「越河・斎川地区の文化遺産と古い時代の奥州街道」の講演、続いて秋本氏の「越河～岩沼間の一里塚・里程標」についての報告があり、午後には佐藤忠氏の案内で越河斎川地区の史跡探訪が行われました。講演会場に入ったとき、70 名を超える皆さんの熱気が伝わってきました。馬牛沼に投げられた小石の波紋がひろがるのを肌で感じ、その後の講演会・探訪会を楽しむことができました。この盛況は地域の皆さんの熱意の表れと厚く御礼を申し上げます。

* * * * *

「みやぎ街道交流会」丸の最初の寄港地は栗原でしたが、その後の地域（栗原市）の活動はますます盛んとなり、昨年は地域に残された安政 4 年の「大秘方萬料理方全」を解説し料理を再現、11 月には試食会がありました。また栗原市に残る奥州街道の復元のための刈払いが師走の小雪がちらつく中で行われ、60 名の方々の力で、1.2km 余の旧道が江戸時代の姿へとよみがえりました。感激です。さらには、やがてこの道を歩く人たちのためのガイド講習会が行われています。

* * * * *

岩手県の一戸町に残る奥州街道が国の指定史跡になると聞いていますが、栗原市の奥州街道はそれに匹敵するものと思います。戦時中に松根油採取のために伐採された松並木が明治 25 年の第二師団参謀部地図には描かれています。

百年後の人たちが史跡と伝説の豊かな金成を出発、松並木の下を歩き、茶屋で郷土料理に舌鼓を打ち、有壁本陣で大名や庶民の旅に思いをはせる…ここで寅年生まれの私の初夢が覚めました。

今年も皆さんと一緒に街道で楽しんで行きたいと思います。

／平成 22 年 1 月 高倉 淳 (寅年)

活動報告 2009.11~2009.12

EVENT REPORT 01

こすごう さいかわ

2009.11.23.mon
勤労感謝の日

みやぎ街道交流会 in 越河・齋川

【開催目的】

- 白石市南端の越河・齋川地区と福島県県境付近は、その急峻な地形条件などから、平泉藤原・源頼朝や伊達・上杉の攻防など古くから軍事・交通上の要衝として、重要な位置づけにあります。
- そのため、越河・齋川地区には、旧跡や寺社などの歴史的・学術的な文化遺産が多く残されています。また、街道に関しても明治維新前後またはそれ以前の古い街道の変遷を見ることが出来ます。
- みやぎ街道交流会 in 越河・齋川では、この地区の文化遺産や古い街道の変遷についての講演、明治維新前後の奥州街道の調査報告、そして街道探訪会を開催したものです。



昭和8年の齋川の様子

【講演・活動報告】

講師の佐藤氏より、これまでの古文書や現地調査による自身の研究成果を踏まえて、福島県国見町厚樫山から宮城県白石市齋川までの、古い街道や街道周辺の文化遺産の由来など詳しく説明いただきました。また、講演の途中、今は唱える人の少ない文部省作詞・作曲の「甲冑堂」を齋川の中川さんに歌っていただきました。

続いて活動報告ではエコミュージアムせんなんの秋元氏より、福島県境から岩沼までの奥州街道・一里塚のかつての位置や、その後一里塚に替わり明治6年に設置された新たな里程標について、古文書や現地調査による成果を詳しく説明いただきました。



越河公民館の様子



講師 佐藤 忠氏
白石市越河在住



甲冑堂を歌う中川さん
白石市齋川在住



秋本 好則氏
柴田町在住

【街道探訪会】

佐藤氏の案内で、国見峠長坂跡(芭蕉翁碑)から白石市齋川(賽神社)までの街道や周辺の文化遺産を中心にバスで探訪しました。途中、「秋本好則氏」には一里塚跡及び里程標について説明して頂きました。



奥州街道越河一里塚跡前



楓・初音の甲冑木像



齋川検断屋敷の薬医門

【参加状況】

講演会は、予想を上回る75名の参加。地元の方が約半数ということから“地元に住む方々が地域の歴史を再認識していただく”という開催目的の1つは達成されたと思います。

【アンケート】

講演・活動報告は8割の方が“大変よかった・良かった”と回答。また街道探訪会は参加した全員の方が“大変よかった・良かった”と回答。多くの方に満足いただける内容となりました。

【総括】

今回をきっかけに、街道を市民講座等で取り上げ、更に充実した内容として実施されること、そして“地域の歴史を踏まえた地域づくり・まちづくり”に活かしていただきたいと思ひます。

会長からの巻頭言にありました「in 越河・齋川」の開催報告をはじめ、昨年末に行われたイベントへの参加報告などをお届けします。特に、現在奥州街道会議とともに取り組んでいる「地方の元気再生事業」より、栗原市内で現在進行中の取組もご紹介いたします。

地方の元気再生事業・宮城県内 プロジェクト進行中

【地方の元気再生事業とは】

- 平成21年度地方の元気再生事業として「みちのくの街道・交流人口創出のための6次産業創造プロジェクト」が選定されて取り組んでいます。
- 刈り払いの他、奥州街道ガイド養成講座、街道の“駅・茶屋・市・宿”認定のメニューで街道を活かした地域コミュニティビジネス創設をめざしています。

Project 01

奥州街道刈り払い

2009.12.19.sat



平成21年12月19日、念願の“栗原市金成の奥州街道(夜盗坂~新鹿野L=1.2km)刈り払い”が地元の方(旧金成町末野地区、旧若柳町三田島地区)や街道メンバー(くりはら街道会議、奥州街道会議、みやぎ街道交流会)など総勢60名が参加して行われました。

翌日、刈り払いの終わった南工区(700m)を歩き、地域の方と街道関係者の連携で蘇った素晴らしい街道に感激!! ゆっくり歩いて約30分のコースです。

【今後の予定・目標】

- 今回刈り払いができなかった約500m(北工区)を春までに開通
- 地域の協力のもと道標を設置(街道歩き人への案内のため)

栗原市の奥州街道は、大崎市境から一関市旧国道4号までの37km。旧街道の景観をよく残している区間はこのうち5.9kmです。

刈り払いの必要な残り区間は北工区と一関市・鬼死骸の約1kmとなりました。今後は一関市にも働きかけて、全ての刈り払いを完了させ、この街道を活用した地域づくりに繋げていきたいと思ひます。みなさま、ご理解とご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

Project 02

街道ガイド養成中

2009.12~2010.02

奥州街道を訪れる人への現地案内「街道ガイド」を育てる養成講座を開講中。宮城県内では、栗原市内の奥州街道にて、昨年12月から今年2月までのプログラムで実施しています。

講座を受講しガイドとして認定されると、「ガイド認定証」が交付され、来年春以降、各地の街道で現地ガイドとして活躍する予定です。

【今後の予定など】

- 平成22年2月20日(土)「活動報告会」
 - 平成22年2月21日(日)「モニターツアー」
- ※ガイドの卵達の案内で実際に街道を歩きます。

モニターツアーは一般参加も受け付けます。詳しくはみやぎ街道交流会事務局までお問合せください

EVENT REPORT 02

旧岩出山町・上街道ハイキング&上の家地元料理試食会

2009.12.6.sun

平成21年12月6日に大崎市(旧岩出山町)で、上街道ハイキングと地元料理試食会のイベントが開催されました。

(以下舟山レポートより引用) 天気恵まれ、手入れの行き届いた街道歩きに心身共にリラックスし無事完歩。メダシメダシ。アップダウンも無く、また案内板が設置されており、本当に気持ち良く歩ける街道でした。



入口付近
(案内板が設置されている)



千本松長根



田舎料理で昼食



参考:全体図

編集後記

2010・寅年がスタートしました。まだまだ寒い日が続きますが、風邪なんかには負けないよう、虎のような勢いで頑張っていきたいと思います!さて、今回のニュースは、4月・春頃の発行を予定しています。ニュースで紹介したい記事がある方は、事務局までお寄せください。お待ちしております。(くり)

みやぎ街道交流会ニュース
第12号/2010.1.22発行